

キッチン白書 2021 公開 キッチン空間で、お気に入りの過ごし方をしたい！

～ニューノーマルな暮らしのなかで、子育て世代がキッチンに求めるもの～

クリナップ(本社:東京都荒川区 代表取締役 社長執行役員:竹内 宏)のおいしい暮らし研究所では、「キッチンから見た生活者の“いま”」を紐解くべく、食・物・空間の変化を調査・分析し『キッチン白書』として発表しています。今回はキッチン空間の役割探索調査を実施し、主に 30-40 代の子育て世代に注目して分析を行いました。コロナ禍を経験した子育て世代が、家ナカ生活を楽しむためキッチンに求めるものが見えてきました。

① キッチン空間で気分を盛り上げるためにしている工夫

「お宅にとって“キッチンやその周辺の空間”はどんな空間ですか？」という問いに様々な回答が寄せられるなか、30-40 代の子育て世代にはお気に入りの過ごし方があります。

※調査対象：30-40 代女性/1 都 3 県及び大都市圏（100 万人以上都市）、同居しているパートナー（事実婚可）がいる

一目で気に入り購入した北欧風キッチンツール。ママ友にも褒められ料理は苦手なので、見る度テンションが上がりが助かっている。

育てた植物や買った花、ぬいぐるみを飾る。家族全員がLDKですと過ごすから、キッチンは私のテリトリー。

休日は作り置きのためキッチン滞在時間が長い。対面なので、テレビを見たり、夫と会話ができる。

料理・家事の時にタブレットを使う。持ち運びが容易で、2階ベランダにも持って行く。ラジオ番組を聞きながらだと、はかどるし楽しくなる。

私の、お気に入りの飾る 「飾る」ことで大切であることを表現し、気分を上げたり、癒されたりしている様子

いつも居る、人も来るLDKのキッチン窓辺に木の風合いが素敵な豆引き、ペーパーミルなどを並べインテリア風に。車メーカー製のひき具合は素晴らしく、家族と私のお気に入り。

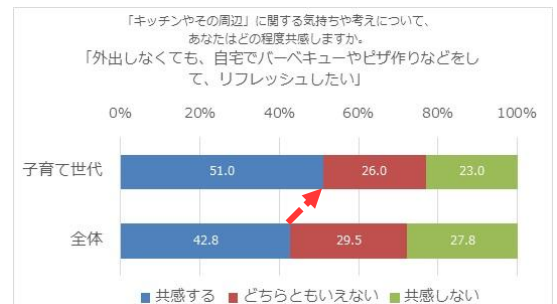
レンジフードの平らな部分に、お札やフィギアなど大切な物を置いている。

私の、お気に入りの過ごし方 過ごし方を工夫することで気分を上げている様子

平日は夕食を作りながら、子どもに隠れてスナックやチーズを食べアルコールを飲んでいます。仕事の自分へのご褒美です。

② 家ナカでも料理イベントでリフレッシュ！

「外出しなくても、自宅でバーベキューやピザ作りなどをして、リフレッシュしたい」という考え方に、共感する人の割合が全体で 4 割程度なのに対し、子育て世代では 5 割程度と、高くなります。



そのほか、癒しや気分転換の要素をキッチンに求めたり、一人の時間を過ごしたいと考える姿など、30-40 代の子育て世代のリアルに迫ります。詳細は『キッチン白書 2021』をご覧ください。

<http://cleanup.jp/oikura/kitchen-hakusyo/>

【調査概要】

- ・調査対象：同居家族がいる 30～60 代の既婚女性、全国、フルタイム共働き世帯のみ対象
- ・実施期間：2021 年 1 月 8～13 日
- ・回答者数：400 名(年代均等割付)
- ・調査方法：インターネットによるアンケート

【「おいしい暮らし研究所」とは】

キッチンを通じた、楽しいふれあいの場作りに貢献するために、生活者の食や暮らしに関する情報の収集、調査・分析を行っているクリナップ(株)の研究部門(2009 年発足)です。